

位置
疆域

の海宮王の姿を描に、龍冠を戴く形を作る、畫工元より本基ありて圖するにあらねば、是徴とするに足らざれ共、暗に其同軌に出るを強て五の證とす、此等を合せ考ふるに、海宮は琉球たる事決定して知ぬべし、されば我と琉球とは尊卑等殊也といへども、相隣て唇齒とやいわん、肝膽とやいわん、此より後、續て貢使の往來ありつべけれど、考ふる所なし、

〔中山聘使略〕其國薩州の南一千六百里、福州の正東千七百里にあり、北極出地二十六度二分三釐、偏度北極の中線を去り、東に偏る事五十四度、牛女の野にあたる、

〔萬國夢物語〕上、琉球國ナリ、是モ海中ノ島國也、中華ノ東南海中に在、大冤ヨリ少シ北東ニ有島也、

○中 北極出地廿七度許、氣候暖國也、大冤ヨリハ寒シ、日本帝都ヨリ凡二百四十餘里ノ直徑ノ南ニシテ、方角ハ西南ニテ、海路ハ六百餘里成ベシ、薩州ヨリ海路三百里、バカリ也、國中蛇多シ、日本ノ鼠ノ如シ、薩州迄ノ海中ニ數多ノ小島有、皆々薩州琉球ヨリコレヲ領ス、土產、木綿、芭蕉布、黑砂糖、アワモリ酒、其外藥種類品々也、

〔日本地誌提要〕^{七十五} 疆域 沖繩島、薩摩ノ開聞岬ノ西南少南海上、凡壹百三拾六里ニアリ、東北ヨリ西南ニ亘リ、長凡貳拾七里、東西廣處壹拾里、狹處壹里餘、南北凡壹拾里、周回七拾四里、幅員凡壹百六拾方里、其南島ヲ宮古^{ミヤコ}八重山^{ヤエヤマ}群島トナシ、之ヲ先島ト稱ス、

島嶼

〔南島志〕^上計羅摩島^{羅摩}、^{舊作計}明人稱謂鷄籠嶼、^{即此}鷄籠嶼、^見崑山^{鄭士若}、^{琉球國圖}、^按皇明實記、^所去

那霸港、西行七里、而至于此、其周廻三里、座間味島、隸焉、^旁近小島凡八、土壤狹少、^{皆非}有民居者、^{座間}

周廻二里、^{二十四町}、赤島、^周廻一里、^{十八町}、^{國人云}、^{中國人稱}馬齒山者、^{即此}、去此西往、先島、^{南海諸島}、^總海中砂礁、其國稱曰八重干瀨者、^南

北五里、東西里半、^使琉球錄、^{所謂}古米山水急、或曰礁東、或曰礁西、兩路均是七十五里、而至宮古島、^針

孔之濱也、

戶無島、島在那霸港西北二十六里、周廻一里六町、側近小島曰天未奈、其地甚狹、無人住者、